

地球流体データ解析・数値計算ワークショップ (dcmode/davis チュートリアル)

概要

- 日程
 - 2014年3月10日(月) 地球流体電脳倶楽部ミーティング
 - 2014年3月11日(火) 地球流体データ解析・数値計算ワークショップ
 - 2014年3月12日(水) dcmode/davis チュートリアル(ノートPC持ち込みによるデータ解析・数値計算演習)
- 場所: [惑星科学研究センター\(CPS\)](#)(神戸市中央区港島南町 神戸大学統合研究拠点3階)

プログラム (予定)

3/10 電脳倶楽部ミーティング

数値計算・データ解析にかかわる取り組みに関する報告・討論会。参加自由。

開始時刻: 11:00

報告・議論項目 (順番は入れ替わるかもしれません)

- [議事録メモ](#)
- 各活動の進捗状況
 - dennou ruby 現状報告・議論
 - GPhys/GGraph (堀之内)
 - Gfdnavi (大塚)
 - binary packaging 現状
 - cygwin package (大塚)
 - debian package (佐々木)
 - ubuntu package (乙部)
 - windows installer (乙部)
 - MacPorts (櫻村)

- License について (佐々木)
- DCL 現状報告 (乙部)
- gtool5 現状報告 (佐々木)
- dcmode1 現状報告 (竹広)
 - spmodel (佐々木)
 - deepconv (杉山)
 - DCPAM (高橋)
- DCCD プロジェクト(コンターダイナミクスプロジェクト) (村上)
- ウェブページ整理
 - 電脳 Ruby
- こねた
 - Jenkins によるビルドテストの自動化 (佐々木)
 - 電脳 ruby 小物紹介 (堀之内, その他?)
 - デモ動画のつくり方実演 (納多)
 - gpview の(バッド)ノウハウ (納多)
 - 福岡大学の計算機環境への davis 製品の(?)インストール (乙部)
- 共通ライブラリについて? (林?)

3/11 ワークショップ -地球流体計算の今後-

- 10:00 エクサスケールへ向けた多国間二十面体格子モデルプロジェクト (吉田龍二, 理研 AICS) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 10:45 ビッグデータ同化 (三好建正, 理研 AICS) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 11:30 気象予測技術の将来 (石田純一, 気象庁) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 12:15 昼休憩
- 13:30 並列プログラミング言語 XcalableMP と大規模シミュレーション向け並列プログラミングモデルの動向 (村井均, 理研 AICS) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 14:15 ステンシルフレームワークによる性能と生産性の両立 (丸山直也, 理研 AICS) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 15:00 大規模並列計算機におけるI/O (大野善之, 理研 AICS) ([発表資料](#)) [[動画](#)]
- 15:45 休憩
- 16:15 総合討論
- 18:00 フリーディスカッション
- 懇親会 三宮個室居酒屋 せんごく

3/12 dcmode1/davis hands-on チュートリアル実習 9:30-17:00

ノートPC 持ち込みによる実習です.

午前 (9:30 開始)

- 本実習で使用する LiveUSB/DVD について (佐々木: 30 分程度) [[USB,DVD イメージファイル](#)] | [動画](#)
- [Ruby, GPhys](#) による地球流体データの解析・可視化のチュートリアル (2 時間程度) ([チュートリアル資料](#)) | [動画](#)
 - 参考資料: [Ruby による web アプリケーション開発教育プログラム導入実証](#)

午後

- dcmoel (電脳倶楽部数値モデル群) チュートリアル (3 時間半程度)
 - [dcmoel 概要](#) | [動画](#)
 - [階層的地球流体スペクトルモデル集 spmoel](#) (佐々木) | [動画](#)
 - [大気大循環モデル DCPAM](#) (高橋, 荻原) ([概要資料](#), [チュートリアル資料](#)) | [動画](#)
 - [雲解像モデル deepconv](#) (杉山) ([チュートリアル資料\(要点\)](#), [ごくらく deepconv\(HTML\)](#)) | [動画](#)

参加申し込み

- 以下から申し込みをお願いいたします。特に期限は設けておりませんが、定員 (最大 50 名ほど) になりしだい、受付を終了させていただきます。
 - [URL:https://www.cps-jp.org/signup/dcmoeldavis201403](https://www.cps-jp.org/signup/dcmoeldavis201403) (CPS の簡易ユーザーアカウントの登録後、参加登録申し込みになります)
 - なお, CPS サーバーにアカウントをお持ちの方は、[URL:https://www.cps-jp.org/](https://www.cps-jp.org/) からログインし、右のメニューの会議開催案内から申し込みをお願いいたします

補足, 詳細

dcmoel/davis hands-on チュートリアル実習について

- 実習に必要な計算機環境：3日目の実習は各自が持ち込んだノートPC上で行っていただきます。linux OS 上に実習に必要なソフトをのせた、起動可能な Live-DVD/USB をこちらで用意します。ノートPC に対する要件は、x86 互換 CPU (Intel 等の CPU) を搭載し (PowerPC CPU を持つ Mac PC は対象外)、DVDドライブもしくは USB フラッシュメモリから起動可能であることです。
 - Mac PC では、USB から linux OS を立ち上げることができません。したがって、DVD からの起動となります。
 - その他、機種によっては、USB からの起動に対応していないものがあります。その場合は、DVD からの起動が必要ですので、事前に確認をお願いいたします。
 - Mac Book Air など、USB からの起動が不可で、かつ DVD ドライブがついていない機種をお持ちの方は、別途、起動可能な 外付け DVD ドライブをお持ちください。
 - USB フラッシュメモリを使用する場合、実習で作ったプログラム等が直接保存できます。（持ち運び可能な OS 入ドライブとして使い続けられます）DVD の場合再起動するとともに戻りますので、作ったものを保存するには別途書き込み可能なメディアが必要になります（持参ください）。